

## アートディレクターの水谷さん

# 米国で出会った少女の「笑顔」を集め写真集に

資生堂などのポスターでも知られるアートディレクター、水谷孝次さん(44)が米国で出会った少女たちの笑顔を集めた初の写真集「Merly」を出版した。来年1月には「ミレニアムスマイル」をテーマに写真展のほか、一般参加者の笑顔とメッセージをポスターにして展示する企画展を開催する。水谷さんは「リストラやいじめと暗い話題が多く、世の中全体がうつむき気味な今こそ、笑顔を忘れてはいけない」と話す。  
(小川真由美)

写真集の舞台は五年前に水谷さんがプライベートで出かけた米国のバスの中。バスで一緒になった少女たち三人の屈託ない笑顔が「あまりにキラキラしていた」ので思わずカメラを向けた。

写真集は、この時撮った二百枚以上の写真から三十カットを厳選。俳優の本木雅弘さん夫人の内田也哉子さんとモデルのあんじさんが文章を寄せている。装丁は蛇腹形式で、開いた人がまるで少女たちとバスに同乗しているかのよう。スピード感あふれる作

パブル経済の八〇年代は「ポスターは作れば金になった」が、九〇年代の不況で広告業界も元気がなくなった。スポンサーの減少だけが原因



写真集を出版した水谷孝次さん。来年1月の写真&ポスター展に向けて準備に余念がない  
港区六本木の事務所

### 「うつむき気味な今こそ」 来年1月には企画展も

ではないと水谷さん。「ポスターは社会へメッセージ性が不可欠。不景気の今こそ、企業の商業美術にほんろうされず、製作者の原点に返った表現ができるはず」。今回の写真集や企画展も、「世の中全体がうつむき気味な今こそ、笑顔忘れてはいけない」という思いと同時に、潤沢な資金に頼らずともメッセージ性のあるポスターを製作できるはず、という意識がある。

写真集のほか、来年1月四日から十六日にラフォーレミュージアム原宿(渋谷区神宮前一ノ六)で、「Merly」の写真展と、ポスター展などを組み合わせた企画展を開催。同展では来場者が笑顔のポーズとメッセージを入れたオリジナルポスターを作ることができる。

ポスターはデジタルカメラや大型プリンターを使い、その場でプリント。期間中、館内に展示され、終了後にももらえる。

主催のラフォーレ原宿は、通常の一日の賃貸料八十万円を水谷さんの企画に賛同して無償で提供。「さまざまな仕掛けも用意します。とにかく笑顔が館内にあふれて楽しいこと請け合い」と担当の武村俊さんも話している。